



過去の
ニュースは
こちら

田植えを前にどろんこ体験



学習田の代かき作業は 楽しい泥んこ遊び

玉津小学校の5年生53人が、学習田の田植えを前に、土と水を攪拌する代かき作業としてどろんこ遊びをしました。泥田におそろおそろ足を入れた児童の中には「気持ちいい」と走ったり寝転んだり大はしゃぎをする子や、「気持ち悪い」と友だちの手を頼りにそろそろと歩きながら笑顔を交わす子など、思い思いに泥田の感触を楽しんでいました。

〔5月2日 | 玉津小楽校 学習田〕

家族や友達と環境センター見学&リサイクル体験



自分が捨てたごみはどこへ 環境センターの役割やリサイクルを学ぶ

たくさんの親子連れが参加し、環境センターの見学はもちろん、ペットボトルの分別にチャレンジしたり、ボトルtoボトルの取り組みや推進のために何ができるかを考えたりしました。子どもたちは、巨大なクレーンがごみをつかむ様子に大興奮。楽しみながら施設の役割や何気なく捨てているごみやリサイクルについて考える一日となりました。

〔4月29日 | もりやまエコパーク 環境センター〕

4年生児童が野洲川フィールドワーク



地域の野洲川に親しもう 生き物もいっぱい見つけたよ

立入が丘小学校の4年生が、総合的な学習の一環として、水に入って遊んだり生き物さがしをしたりと、野洲川で環境フィールドワークを行いました。底の石や水の流れに足をとられないよう慎重だった児童も、次第に慣れて元気いっぱい遊んでいました。ナマズの稚魚を見つけた児童は「もっと生き物いるかな?また来たい」と話していました。

〔5月10日 | 立入健康グラウンドゴルフ場付近の野洲川〕

ヘイケボタルの幼虫を放流



大曲自治会地先の湿田に 園で大切に育ててきた約500匹

おまがりぼたるを守る会が管理しているヘイケボタルの生育環境を守る約120㎡の湿田で、速野幼稚園の4、5歳児45人が園で育ててきた約500匹の幼虫を「ホタルのすべり台」を使って丁寧に湿田に流しました。ヘイケボタルを飼育している山本 光男さんは「ホタルが光りはじめたら家族と見にきてね」と子どもたちに呼びかけていました。

〔5月8日 | 洲本町大曲地先の湿田〕

広報もりやまは
右記施設に設置

市役所、各地区会館、JR守山駅(駅前総合案内所)、市立図書館、すこやかセンター、市内金融機関、市内郵便局、市内平和堂各店とアルプラザ栗東、丸善守山店、市内セブンイレブンなど

スマートフォンでも
広報が読めます

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市は責任を負いません。



「マチイロ」アプリを
インストール



「Sidebooks」アプリを
インストールし、
「ちいき本棚」を選択



守山ニュース

「守山ニュース」びわ湖放送
毎月第1・3金曜日放送中

- 子育てするなら守山!子どもと保護者に寄り添った支援
6月7日(金)午後8時20分～8時25分
- 子育てするなら守山!子どもと保護者に寄り添った支援(再放送)
6月21日(金)午後8時20分～8時25分



YouTube「守山市広報」で
過去の放送を視聴できます